

CUCM と IM/P 向けに社内グループを設定する

目次

[概要](#)

[Prerequisites](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[制限事項](#)

概要

この資料は Microsoft Active Directory のグループを管理、jabber か他の IM クライアントを通してグループ検索を行えるの利点を奪取できる機能を説明していたものです。

Prerequisites

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Communications Manager バージョン 11.0
- Cisco Unified IM および存在バージョン 11.0
- Microsoft Active Directory
- Cisco Jabber クライアント

注: この資料はアクティブ ディレクトリで既にユーザに作成してもらっている、CUCM と同期されましたと仮定し。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

CUCM 管理として、それは Jabber か他の IM クライアントを通してグループ検索を行えるの利点

を奪取できるようにディレクトリ同期化サービスの強化された機能が AD LDAPサーバからのグループとユーザの配信グループおよびアソシエーションだけ同期ことはできるように要求します。

Cisco Unified Communications Manager リリース 11.0 を使うと、Cisco Jabber ユーザはグループを捜すことができます

Microsoft Active Directory は連絡先リストにそれらを追加し。グループ連絡先に既に追加されている

リストは更新済、連絡先リスト得ます自動的にアップデートされてです。Cisco Unified Communications Manager は同期します

規定の間隔の Microsoft Active Directory グループが付いているそのデータベース。

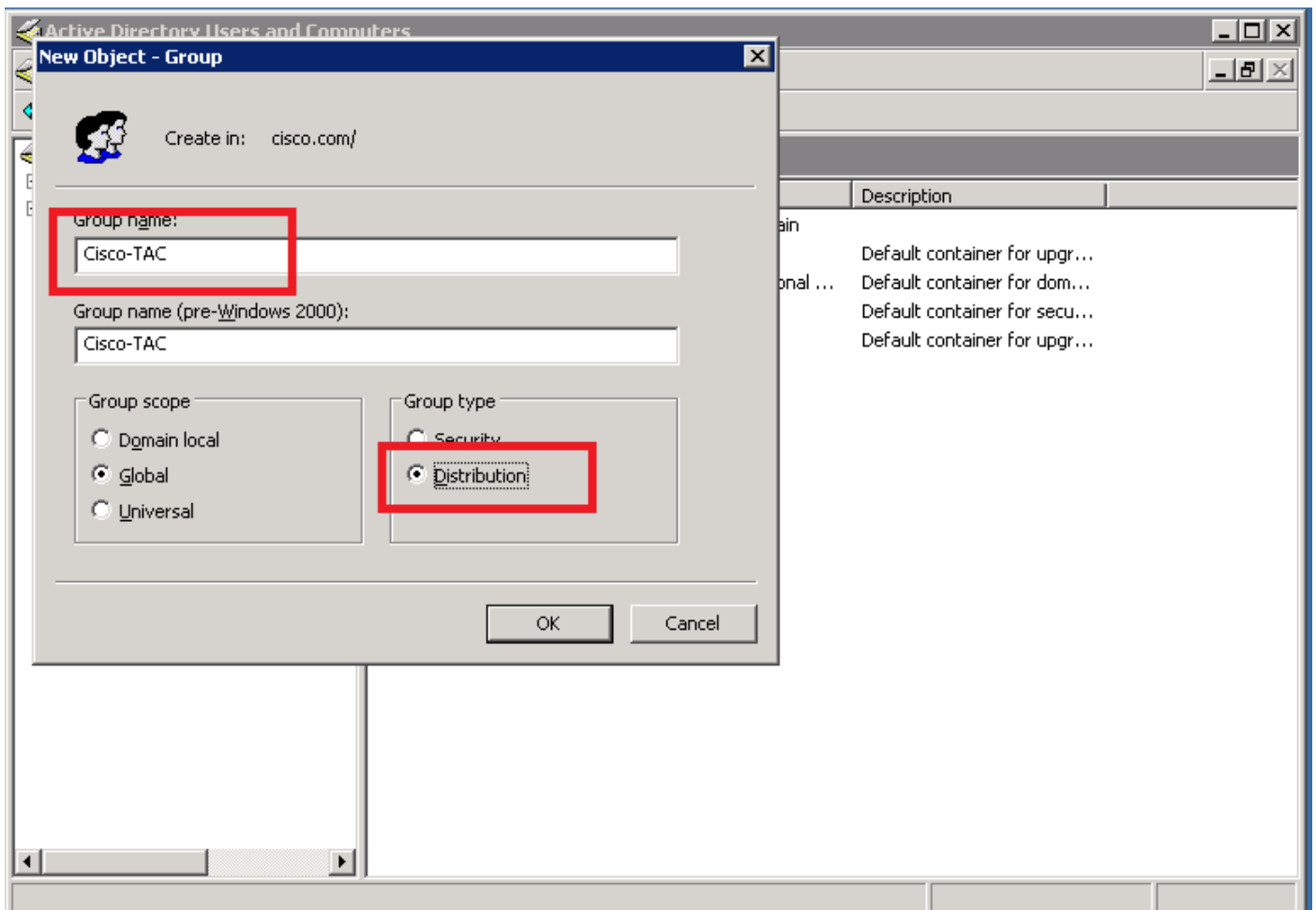
エンドユーザ (Jabber ユーザ) は groupchats 先祖などにロースタ名簿に各メンバー存在を見るか、またはそれらを送信 IMs、追加しますそれらをそれからそれらのグループを追加し、すぐにできる可能性があります

これらのグループは「read only」グループで、クライアントから編集可能ではないです。

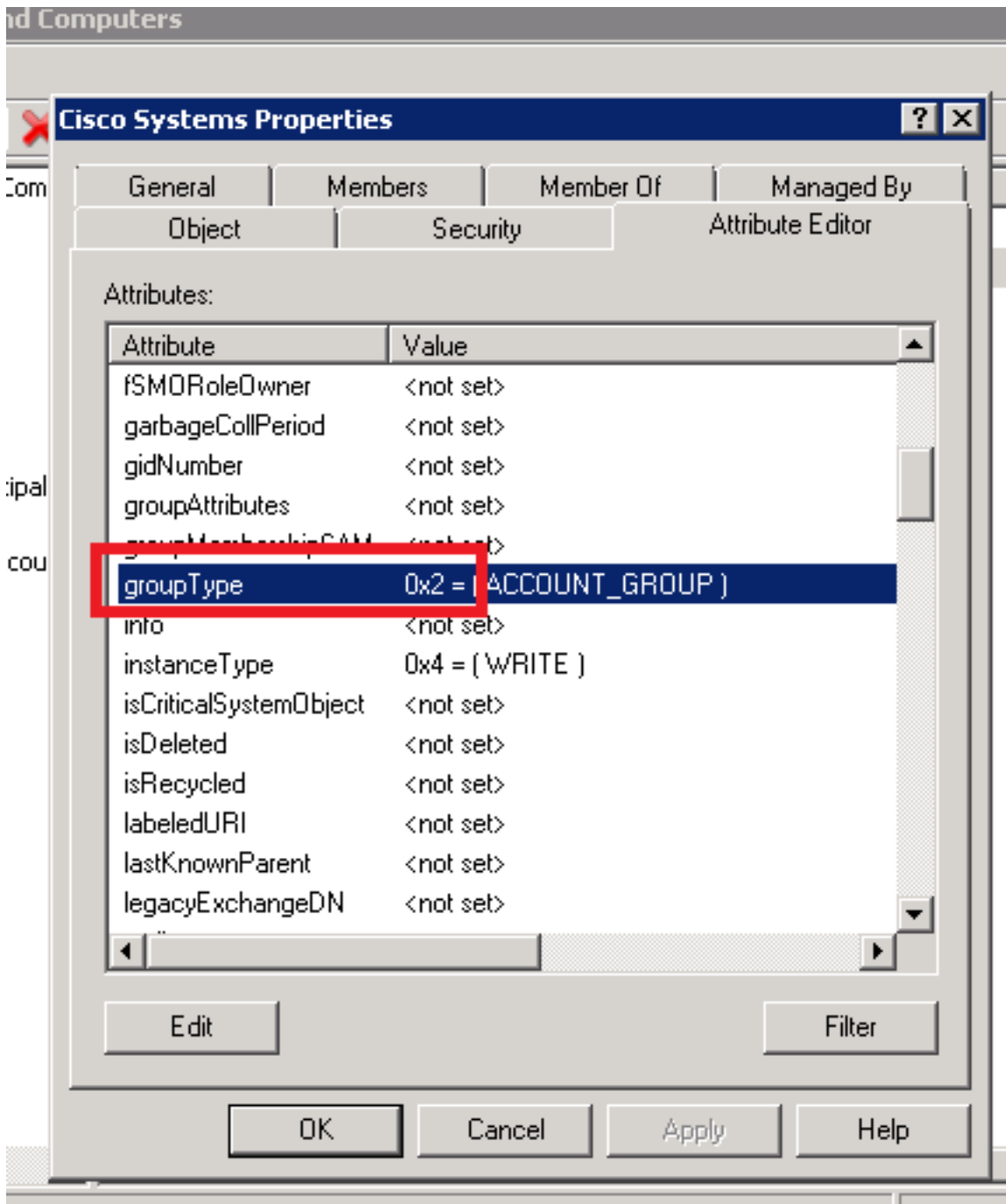
行うそのグループのクライアント ビューの AD のグループへのどのの変更でも示す必要があります。

設定

ステップ 1 イメージに示すように Active Directory (AD) の新しいグループを、作成して下さい。ディストリビューションとしてグループタイプを作成するようにして下さい。



グループを右クリックし、アトリビュート エディタ タブを『Properties』を選択し、それからクリックして下さい。イメージに示すように2としてグループタイプを、確認できます。



グループが作成されたら、上のグループにそれぞれユーザを追加して下さい。

ステップ 2.システムへのナビゲート -- LDAP-- [LDAP Directory]

CUCM データベースと Microsoft Active Directory のユーザおよびグループを同期するために、イメージに示すように、**Groups オプション** ボタン 『Users』 を選択 すれば。

LDAP Directory

Save Delete Copy Perform Full Sync Now Add New

Status

Status: Ready

LDAP Directory Information

LDAP Configuration Name*	LDAP11
LDAP Manager Distinguished Name*	admin
LDAP Password*
Confirm Password*
LDAP User Search Base*	ou=LDAPUsers11,dc=akasverm,dc=com
LDAP Custom Filter for Users	< None >
Synchronize*	<input type="radio"/> Users Only <input checked="" type="radio"/> Users and Groups
LDAP Custom Filter for Groups	< None >

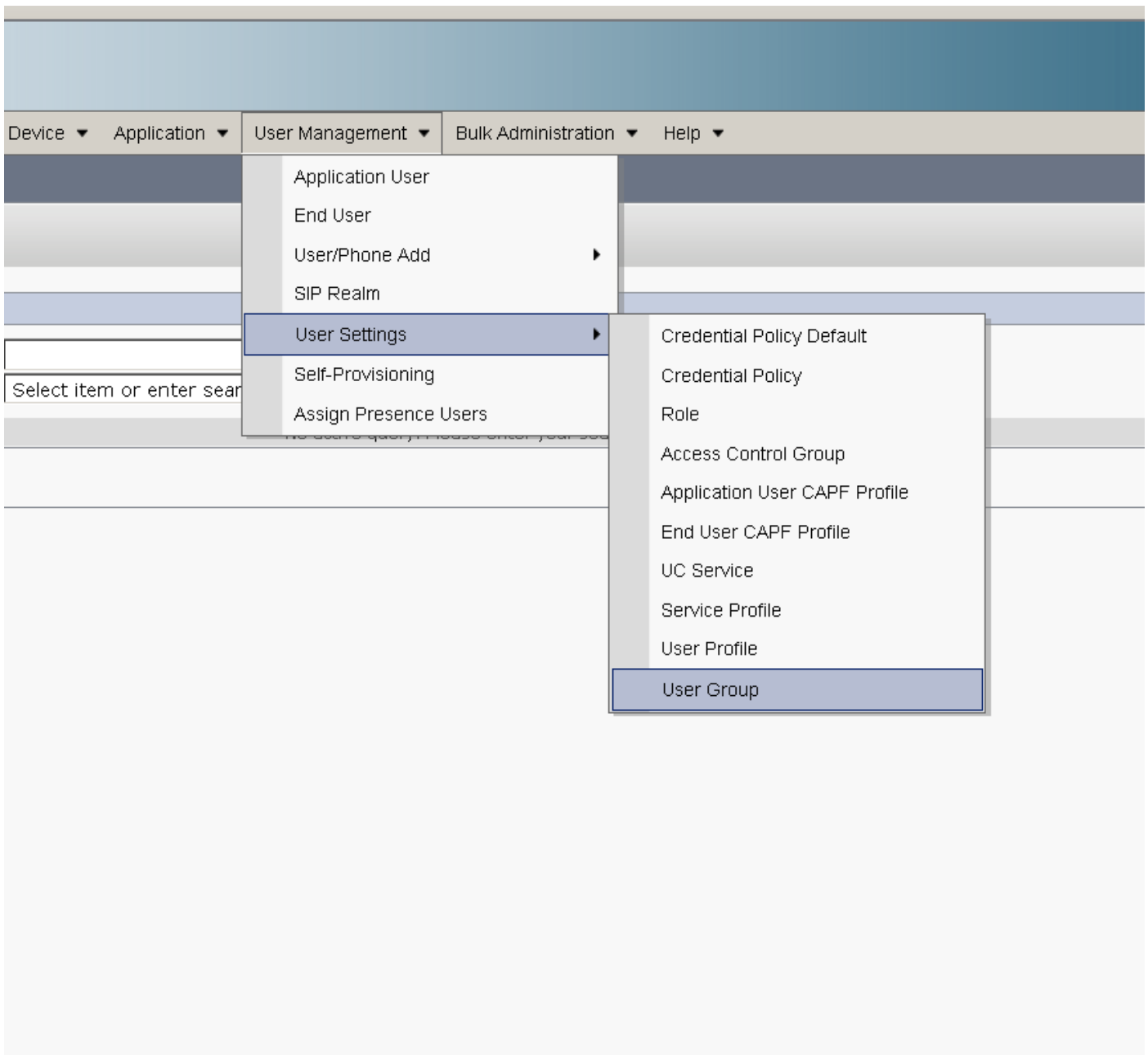
注: 社内 ディレクトリとして Microsoft Active Directory を使用しているときだけ**ユーザおよびユーザおよび Groups**オプション・ **ボタン**だけ利用できます。

それが同期されれば、

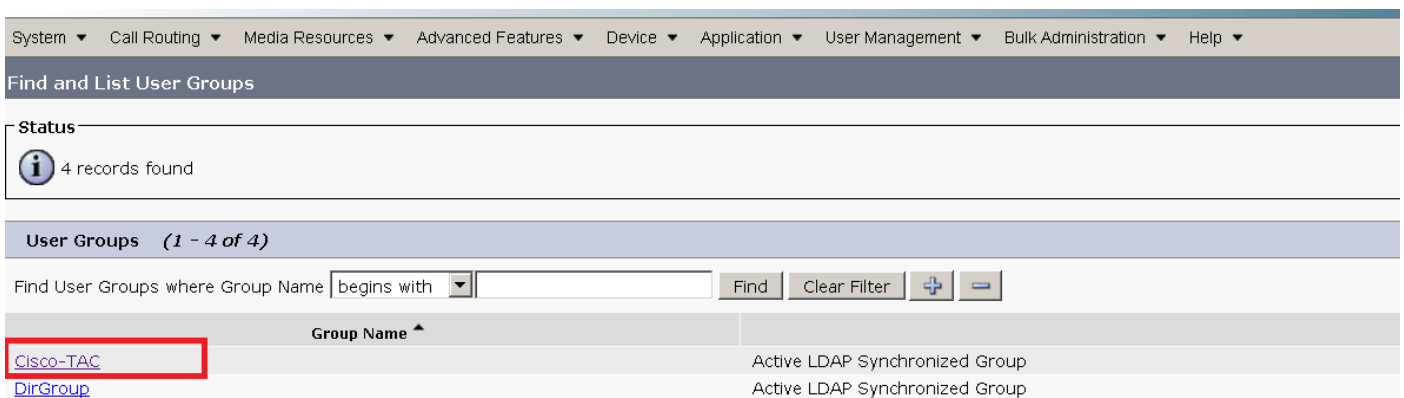
Cisco Unified CM 管理から、**ユーザマネージメント > ユーザ設定 >** 示されていた **inthe** イメージとして**ユーザグループ**へのナビゲート。

検索およびリスト ユーザグループ ウィンドウは現われます。

ステップ 1.で作成された新しいグループを表示できます。



グループを『User』をクリックすれば、作成されるグループを表示できます。



ユーザグループに属するユーザのリストを表示するために、必須ユーザグループをクリックして下さい。

ユーザグループ コンフィギュレーションウィンドウは表示する

検索基準を入力し、『Find』をクリックして下さい。

検索 基準を満たしたユーザのリストはイメージに示すように表示する:

System ▾ Call Routing ▾ Media Resources ▾ Advanced Features ▾ Device ▾ Application ▾ User Management ▾ Bulk Administration ▾ Help ▾

User Group Configuration

Status

LDAP Synchronized Groups cannot be modified

Group Information

Group Name Cisco-TAC
Distinguished Name CN=Cisco-TAC,OU=LDAPUsers11,DC=akasverm,DC=com
Group Type Active LDAP Synchronized Group

User (1 - 3 of 3)

Find User where User ID begins with Find Clear Filter + -

User ID ^	
11ldap1	11ldap1 user1
11ldap2	11ldap2 user2
11ldap3	11ldap3 user3

新しいエンタープライズ パラメータ ディレクトリ グループ オペレーション on Cisco IM および存在はで追加されます
エンタープライズ パラメータ コンフィギュレーションウィンドウ。このパラメータは AD グループを有効にするか、またはディセーブルにすることを可能にします
同期化機能。これらのステップが AD グループを有効にするのに同期します機能を使用されています。

Cisco Unified CM 管理から、**System > Enterprise Parameters** へのナビゲート。
エンタープライズ パラメータ コンフィギュレーションウィンドウは表示する。

ステップ 3 パラメータが区分したりユーザマネージメントで、ディレクトリ グループ オペレーションから『Enabled』を選択して下さい
イメージに示すように **Cisco IM および存在** ドロップダウン リスト:

User Management Parameters

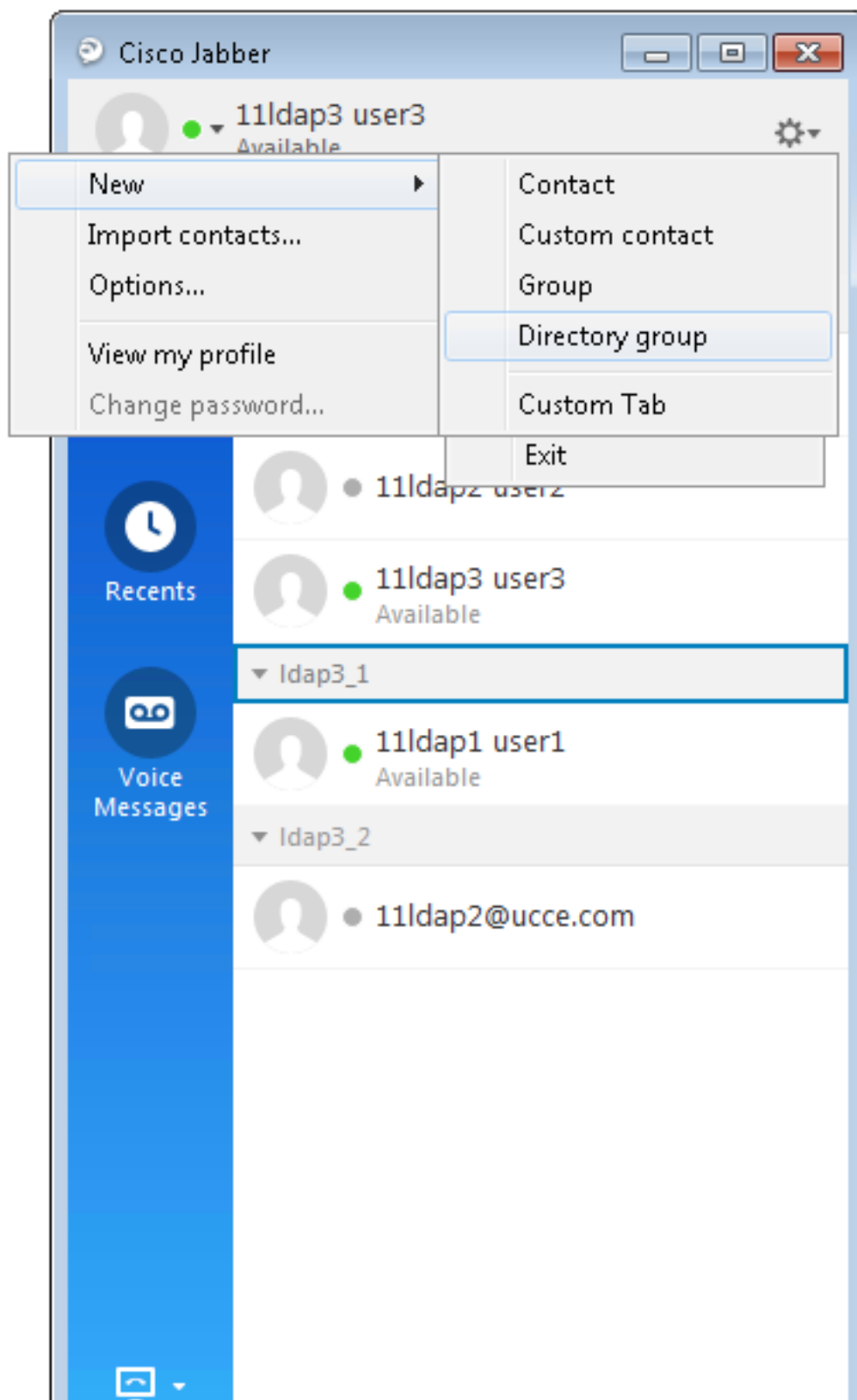
Effective Access Privileges For Overlapping User Groups and roles *	Maximum
Allow non-super user to grant access to administrative web pages *	True
User Assignment Mode for Presence Server *	Balanced
Directory Group Operations on Cisco IM and Presence *	Enabled
Syncing mode for Enterprise Groups *	Differential Sync

Jabber クライアント機能拡張

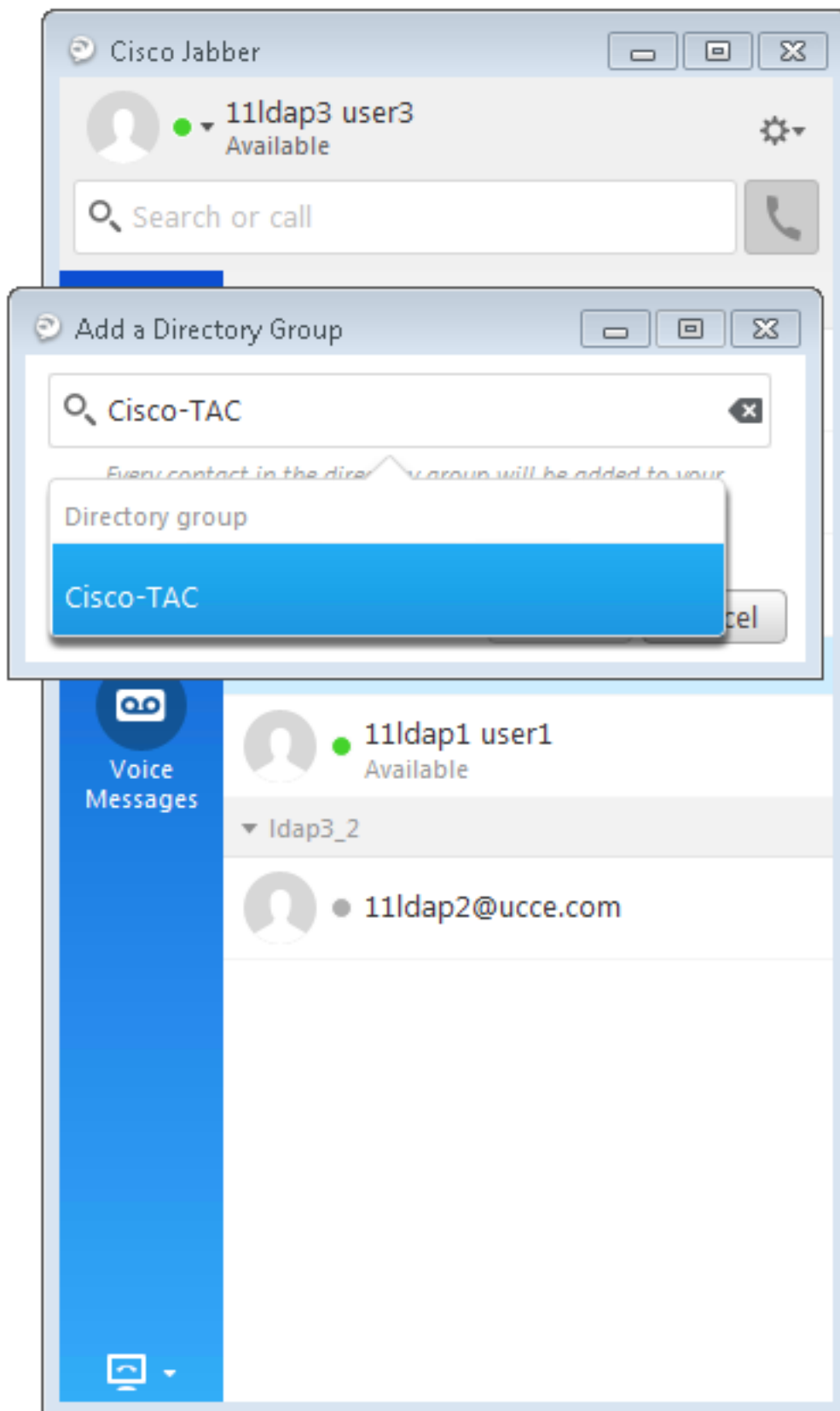
Jabber クライアントはこれらの企業グループ機能性をサポートするために高められます:

- 連絡先リストに既存のディレクトリ グループを追加して下さい。
- 連絡先リストから既存のディレクトリ グループを削除して下さい
- 連絡先リストのディレクトリ グループ メンバーの存在更新を表示する。
- ダイナミック アップデートをディレクトリに表示するまたはユーザなしでグループに AD サーバの内てなされるメンバーになりますログインまたはグループ化して下さい。
- ユーザが複数のリソースを通してログオンされるときクライアントでサポートされる機能をグループ化して下さい。

イメージに示すように **Menu> New> ディレクトリグループ**にナビゲートして下さい:



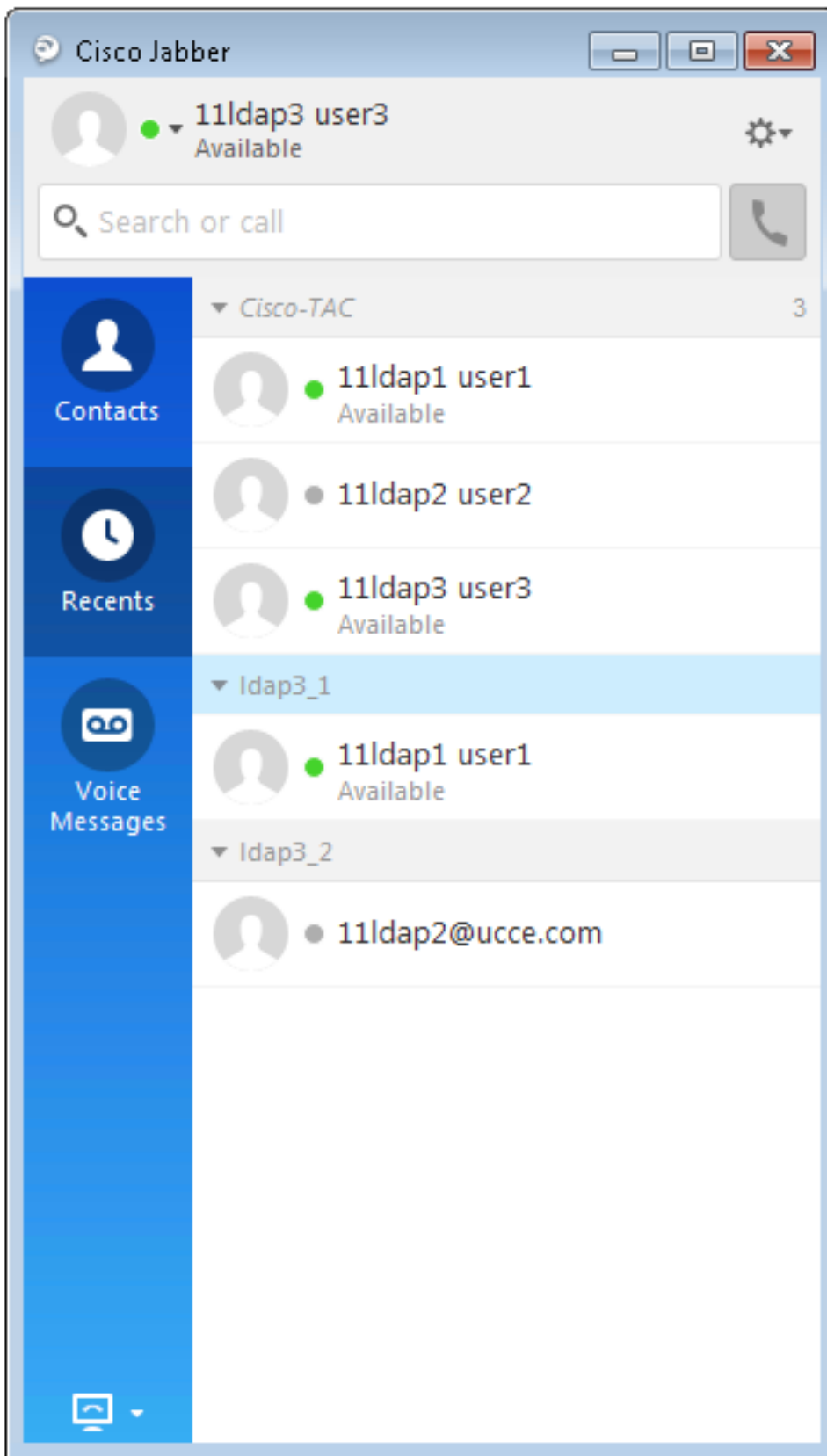
この場合イメージに示すようにグループの名前を、入力して下さい:



確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

グループが追加に成功した後、イメージに示すように存在と共にメンバー全員を次のように表示できます:



IM に割り当てられるおよび存在サービス ノードだけに追加することができますグループ メンバ
—
連絡先リスト。他のグループ メンバーは廃棄されます。

企業グループ機能をディセーブルにする場合、Cisco Jabber ユーザはそれから Microsoft アクティブを検索できません

ディレクトリ グループはまたは連絡先リストに既に追加したグループに会います。 ユーザが既にログオンされていれば

企業グループ機能をディセーブルにするとき、グループはユーザがログアウトするまで目に見えます。 設定が完了したら、ユーザは、グループ目に見えるべきではないです再度ログオンします。

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

1. グループが AD サーバから CUCM に同期しなかったりこれらをチェックして下さい:

- 一致ページを同期し、**ユーザおよび Groups オプション** ボタンが選択されるイメージに示すようにかどうかチェックする LDAP Directory ページ ナビゲートでは:



The screenshot shows the LDAP Directory configuration page. The 'Synchronize*' dropdown menu is highlighted with a red box, and the 'Users and Groups' option is selected. Other options include '< None >', 'Users Only', and 'Groups Only'. The 'LDAP Custom Filter for Users' and 'LDAP Custom Filter for Groups' are both set to '< None >'.

- かどうか AD の**セキュリティグループ**として作成されるグループ確認して下さい (配信グループだけサポートされます)。

2. Jabber クライアントでは、ディレクトリ グループを追加するオプションがないし、Enterprise Parameter ページに**ディレクトリ グループ オペレーション on Cisco IM がおよび存在**フィールド イネーブルになったに設定 されるかどうか確認して下さいナビゲートし。

3. Jabber クライアント ディレクトリ グループがチェックをこれそれから追加されない場合:

- ステータスが Inactive そしてである場合 CUCM のユーザーグループ ページにナビゲートし、その ADGroup のステータスが非アクティブであるかどうか確認して下さい、それは追加されません。
- ロースタ名簿限界が IM/P サーバ 管理 ページ存在 à 設定 à 標準の設定の割り当てられた値より多く超過すれば



The screenshot shows the Enterprise Parameter page. The 'Maximum Contact List Size (per user)*' field is highlighted with a red box, and its value is 200. The 'Maximum Watchers (per user)*' field is also highlighted with a red box, and its value is 200. Both fields have a 'No Limit' checkbox next to them.

- AD グループ メンバーの存在が示されていなかったら AD グループ メンバー数が以上 100 あるかどうか確認して下さい。 そうであれば最大限が各 AD グループのための 100 であるので 100 つ以上それからその AD グループのための存在ブロックされます

制限事項

これらの制限は企業グループ機能に適用されます:

- 企業グループは配信グループだけ同期するために割り当てを特色にします。同期のセキュリティグループはこのリリースでサポートされません。
- ユーザグループ コンフィギュレーションウィンドウで、フィルタはユーザ向けにだけ利用可能です。フィルターは利用できません
ユーザグループのため。
- 多重レベル グループ化はグループ同期化のために許可されません。
- ユーザグループおよびユーザが同じ検索ベースに時、グループだけ同期はありません
割り当てられる。その代り、ユーザグループ、またユーザは同期されます。
- Microsoft Active Directory サーバからののに最大 15000 人のユーザグループを同期できます
Unified Communications Manager データベース。各ユーザグループは最大 100 人のユーザを含むことができます。
- ユーザグループが 1 Organization Unit から別のものに移られる場合、の完全な同期化を行って
下さい
新しいユニットの完全な同期化に先行しているオリジナル ユニット。
- ローカル グループはサポートされません。 Microsoft Active Directory から同期されるグループ
だけサポートされます。
- 連絡先リストの IM および存在サービス ノード ディスプレイに割り当てられないグループメン
バー
選択不可能になる存在バブル。ただし、これらのメンバーは最大を計算するとき考慮されます
連絡先リストで許可されるユーザの数。
- Microsoft Office コミュニケーション サーバからの移行の間に、企業グループ機能はありません
ユーザが IM および存在サービス ノードに十分に移行されるまでサポートされる。
- LDAP ディレクトリ設定 ウィンドウの同期 オプションを間、変更する
同期は進行中、既存の同期残ります変化しなくです。たとえば、
ユーザおよびグループからユーザに同期 オプションを時だけ同期変更して下さい
進行中、ユーザはでありグループ同期はまだ続きます。